



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

救われるためには何をしなければならないか?— リビング・イット・アウト・ストロングナンバー付きKJV聖句

それを生きる・神との歩み— 這う、歩く、走る、走り終える

私は救われるために何をすべきか— その基礎

開会の言葉

救われるということは、何よりもまず一つの歩みである。子どもは一日で歩き方を学ぶわけではない。まず、はいはいをする。それから父親がその腕を取り、最初の一步を教える。そして子どもは一人で歩くようになる。それから成長し、走るようになる。よく走る者は競走を走る。競走には終わりがある。その終わりには冠が待っている。神との歩みもそれと同じである。「基礎」の学びは大いなる問いに答えたが、その答えは使徒たち自身の答えであった。すなわち、信じること、悔い改めること、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けること、聖霊の賜物を受けること、そしてそれから続けること、とどまること、最後まで耐え忍ぶことである。この学びは、その答えが一つの人生となるところから始まる。「救われる」を意味するギリシャ語はソゾー(G4982、救う)であり、これは救い出すこと、守ること、全うすることを意味する。「救い」を意味するギリシャ語はソーテリア(G4991、救い)であり、これは救出と安全を意味する。古いヘブライ語はイエシュア(H3444、救い)であり、イエスという名前そのものの内にこの言葉が含まれている。したがって、救いとは一瞬のことだけではない。それは神が人を罪と死から救い出し、それからその人と共に家路の最後まで歩んでくださることである。この学びは、救いを最後まで、すなわち新しく生まれた神の子として救われた歩みがどのように始まるか、救いを日々どう用いるか、神の軍隊にある兵士のようにそれをどのように明け渡すか、そして命の冠が蓄えられている終わりまでどのように耐え忍ぶかを、通して見ていく。

本研究が答える三つの問い:

1. 救われた歩みはどのように始まり、人はどのようにして神の家族に生まれるのでしょうか。
2. 救いを得た後、人は日々それをどうすべきでしょうか。
3. 競走はどのようにして終わり、最後まで耐え忍ぶ者のために何が用意されているか。

1. ハイハイ—救われた者の歩みの始まり

(私個人の思想——すべての歩みは低いところから始まる。生まれたばかりの赤ん坊は走らない。抱かれ、泣き、育つまで乳を飲む。聖書はまさにこの姿を、福音に従ったばかりの人に用いている。だから低いところから、小さく、そして始めよ。)

A. 使徒行伝 2:38 すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。

原語キー / **STRONG** S: ■ G3340 metanoeo ・ ■ G907 baptizo

悔い改め+おのおのイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい→あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。

(私の個人的な思い——この節は歩み全体の入口であり、この学びが「基礎」から引き継ぐわずか三つの節のうちの最初のもです。「基礎」はこの入口を余すところなく開きました。以下に続くものはすべて、人がそこを通り抜けた後に来るものです。)

B. ローマ人への手紙 6:17 しかし、神は感謝すべきかな。あなたがたは罪の僕であったが、伝えられた教の基準に心から服従して、(18) 罪から解放され、義の僕となった。

原語キー / **STRONG** S: ■ G5219 hupakouo ・ ■ G5179 tupos

あなたがたは心から、伝えられた教の型に従い→罪から解放されて、義の僕となった。

C. ヤコブの手紙 1:18 父は、わたしたちを、いわば被造物の初穂とするために、真理の言葉によって御旨のままに、生み出して下さったのである。

父は、わたしたちを、いわば被造物の初穂とするために→生み出して下さったのである。

D. ペテロの第一の手紙 1:23 あなたがたが新たに生れたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変わることもない生ける御言によったのである。

原語キー / **STRONG** S: ■ G313 anagennao ・ ■ G3306 meno

あなたがたが新たに生れたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から→すなわち、神の変わることもない生ける御言によったのである。

私自身の思い——タグG313を見よ、ストロング辞典はアナゲンナオーとは新たに生まれることを意味すると言う。新生とは真実の誕生であり、その誕生の種は神の言葉である。その種は朽ちることがないので、それがもたらす誕生はとこしえに至る。

E. ペテロの第一の手紙 2:2 今生れたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。それによっておひ育ち、救に入るようになるためである。

原語キー / **STRONG** S: ■ G1051 gala ・ ■ G837 auxano

生まれたばかりの乳飲み子のように、御言葉の混じりけのない乳を慕い求めなさい——それによって成長するためです。

F. ガラテヤ人への手紙 4:6 このように、あなたがたは子であるのだから、神はわたしたちの心の中に、「アバ、父よ」と呼ぶ御子の霊を送って下さったのである。

原語キー / **STRONG** S: ■ G5 Abba

このように、あなたがたは子であるのだから→神はわたしたちの心の中に、「アバ、父よ」と呼ぶ御子の霊を送って下さったのである。

G. ローマ人への手紙 8:15 あなたがたは再び恐れをいだかせる奴隷の霊を受けたのではなく、子たる身分を授ける霊を受けたのである。その霊によって、わたしたちは「アバ、父よ」と呼ぶのである。(16) 御霊みずから、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることをあかしして下さる。

原語キー / **STRONG** S: ■ G5206 huiothesia

汝らは子とする霊を受けたれば、われらはアバ、父よと呼ぶ→御霊みずからわれらの霊とともに証したまう、われらが神の子たることを。

(私個人の思いです——赤ん坊が最初に発する音は泣き声であり、聖霊は神の新しく生まれた子にも同じ最初の声を与え、「アバ、父よ」と叫ばせます。アバとは、父に手を伸ばす小さな子どもの言葉です。ですから、救われた歩みの最初の祈りは、長くある必要はなく、真実である必要があります。)

H. イザヤ書 46:3 「ヤコブの家よ、イスラエルの家に残ったすべての者よ、生れ出た時から、わたしに負われ、胎を出した時から、わたしに持ち運ばれた者よ、わたしに聞け。(4) わたしはあなたがたの年老いるまで変わらず、白髪となるまで、あなたがたを持ち運ぶ。わたしは造ったゆえ、必ず負い、持ち運び、かつ救う。

原語キー / **STRONG** S: ■ H5375 nasa ・ ■ H4422 malat

腹より汝らを負い、胎より汝らを抱けり→汝らの老いる時まで我は同じ、我なんぢらを負い、また救い出さん。

(私の個人的な考え——ここで神は、子を抱く者として語っておられる。神はイスラエルを胎内から老年まで抱き続けられた。新しく生まれた信者の最初の一步を支える力は、年老いた信者の最後の一步も支える。)

異なる視点、同じ場面——サマリア、荒野、そしてコルネリオの家

I. 使徒行伝 8:12 ところが、ピリポが神の国とイエス・キリストの名について宣べ伝えるに及んで、男も女も信じて、ぞくぞくとバプテスマを受けた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G907 baptizo

彼らは神の国について宣べ伝えるピリポを信じ → 男も女もバプテスマを受けた。

J. 使徒行伝 8:36 道を進んで行くうちに、水のある所にきたので、宦官が言った、「ここに水がありません。わたしがバプテスマを受けるのに、なんのさしつかえがありますか」。〔(37) これに対して、ピリポは、「あなたがまごころから信じるなら、受けてさしつかえはありません」と言った。すると、彼は「わたしは、イエス・キリストを神の子と信じます」と答えた。〕(38) そこで車をとめさせ、ピリポと宦官と、ふたりとも、水の中に降りて行き、ピリポが宦官にバプテスマを授けた。(39) ふたりが水から上がると、主の霊がピリポをさらって行ったので、宦官はもう彼を見ることができなかった。宦官はよろこびながら旅をつづけた。

見よ、ここに水がある。何がわたしがバプテスマを受けるのを妨げるだろうか → 彼らは共に水の中に下って行った + 彼は彼にバプテスマを授けた → 彼は喜びながら自分の道を進んで行った。

K. 使徒行伝 10:47 「この人たちがわたしたちと同じように聖霊を受けたからには、彼らに水でバプテスマを授けるのを、だれがこぼみ得ようか」。(48) こう言って、ペテロはその人々に命じて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けさせた。それから、彼らはペテロに願って、なお数日のあいだ滞在してもらった。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G907 baptizo

誰か水を禁じて、この人々にバプテスマを受けさせざるを得んや → かれらに命じ、主の名によりてバプテスマを受けしむ。

(私自身の思い——三つの場面、三つの群れ、一つの戸口。サマリアでは町全体が聞いて従い、荒野の道ではひとりの旅人が聞いて従い、コルネリオの家では異邦人の家族が聞いて従った。その旅人はそれから「喜びながら旅を続けた」。すなわち、救われた者の歩みは喜びから始まるのである。)

II. 歩み — 救いを日々どのように実践するか

(私個人の思いです——子どもは自分の足で立ち、いよいよ歩みが始まります。救いとは、箱にしまい込んでときどき跳める宝物ではなく、毎日歩むべき道です。初代教会はそれを日々生きており、この段階を表す言葉——続ける、歩む、成し遂げる、守る、黙想する、成長する——がそれを証ししています。)

A. 使徒行伝 2:42 そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4342 proskartereo

彼らは使徒の教え、交わり、パン裂き、祈りを、ひたすら守った。

(私自身の思い——これは「土台」から引き継がれた三つの節のうちの二番目であり、歩みの段階全体における日々の型である。ストロング辞典によれば、proskartereo (G4342、ひたすら専念し続けること)とは、あることに絶えず自らを捧げることを意味する。初代教会はこの四つのことを訪れたのではなく、その中に生きたのである。)

B. コロサイ人への手紙 2:6 このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのだから、彼にあって歩きなさい。(7) また、彼に根ざし、彼にあって建てられ、そして教えられたように、信仰が確立されて、あふれるばかり感謝しなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4492 rhizoo ・ ■ G950 bebaioo

汝らキリスト・イエスを主として受けたる如く、彼に在りて歩め → 彼に根ざし、彼の上に建てられ、信仰に堅うせられよ。

C. ピリピ人への手紙 2:12 わたしの愛する者たちよ。そういうわけだから、あなたがたがいつも従順であったように、わたしが一緒にいる時だけでなく、いない今は、いっそう従順でいて、恐れおののいて自分の救の達成に努めなさい。(13) あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2716 katergazomai ・ ■ G1754 energeo

恐れ戦きて己が救いを全うせよ → 汝らの内にて働きて志を立てさせ、事を行わせ給うは神なり。

(私自身の考え——あなたがたは、神があなたがたの内に働かせてくださることを外に働き出すのであり、ストロングの辞典によれば、katergazomai (G2716、働き出す)は、事を最後まで成し遂げるという意味である。救いは神の賜物であり、恵みによって与えられるものであり、恵みとは神の受けるに値しない恩恵を意味する。働くことはその賜物を得るためではなく、それを成

し遂げるためである。あたかも既に与えられた種が、なお蒔かれ、水を注がれ、収穫の時に刈り取られなければならないのと同じである。)

D. ローマ人への手紙 6:11 このように、あなたがた自身も、罪に対して死んだ者であり、キリスト・イエスにあって神に生きている者であることを、認むべきである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G3049 logizomai

このように、あなたがた自身も、罪に対して死んだ者であり→キリスト・イエスにあって神に生きている者であることを、認むべきである。

E. ルカによる福音書 8:15 良い地に落ちたのは、御言を聞いたのち、これを正しい良い心でしっかりと守り、耐え忍んで実を結ぶに至る人たちのことである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G2722 katecho

正直で善良な心+みことばを聞いて、それを守る→忍耐をもって実を結ぶ。

F. 詩篇 1:2 このような人は主のおきてをよろこび、昼も夜もそのおきてを思う。(3)このような人は流れのほとりに植えられた木の時が来ると実を結び、その葉もしばまないように、そのなすところは皆栄える。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H1897 hagah

その喜びは主の律法にあり、昼も夜もその律法を思う→彼は水の流れのほとりに植えられたる樹のごとし。

G. ヨシュア記 1:8 この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、あなたの道は栄え、あなたは勝利を得るであろう。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H1897 hagah

この律法の書をあなたの口から離してはならない+昼も夜もそれを思い巡らせ→そうすればあなたの道を栄えさせるであろう。

(私自身の考えーヨシュアに対して神は、この書を昼も夜も口ずさめと言われ、詩篇は昼も夜もそれを口ずさむ幸いな人は、水の流れのほとりに植えられた木のようにと言う。ストロングの辞典によれば、hagah(H1897、口ずさむ)は、つぶやく、低く語るという意味である。ゆえにこの言葉は、目で読むだけでなく、朝も夜も口の中に留め置かれ、ついにはその人の内に根を張るまでに至るのである。)

H. ヨハネの第一の手紙 1:7 しかし、神が光の中にいますように、わたしたちも光の中を歩くならば、わたしたちは互に交わりをもち、そして、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G2511 katharizo

もし神が光の中にいますごとく、われらも光の中を歩まば→互いに交わりを持ち+その子イエス・キリストの血、すべての罪よりわれらを潔む。

(私自身の考察ー「基礎」のセクションでは、罪人を戸口で洗う血が示されていた。ここでは、その同じ血が、歩む者を道の途中でも清く保つ。光の中を歩む人は、血の届かないところを歩むことはない。)

I. ヘブル人への手紙 10:24 愛と善行とを励むように互に努め、(25)ある人たちがいつもしているように、集会をやめることはしないで互に励まし、かの日が近づいているのを見て、ますます、そうしようではないか。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G1997 episunagoge ・ ■ G3870 parakaleo

愛と善行とを励むように互に努め+ある人たちがいつもしているように→ますます、そうしようではないか。

J. ペテロの第二の手紙 3:18 そして、わたしたちの主また救主イエス・キリストの恵みと知識とにおいて、ますます豊かになりなさい。栄光が、今も、また永遠の日に至るまでも、主にあるように、アメン。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G837 auxano

そして、わたしたちの主また救主イエス・キリストの恵みと知識とにおいて、ますます豊かになりなさい。栄光が。

(私個人の思いですー歩みの段階には単純な形があります。受け取って歩む、聞いて守る、昼も夜も黙想する、光の中にとどまる、兄弟たちと共にいる、成長する。毎日食べ、毎日歩む赤ん坊は、いつまでも赤ん坊のままではありません。今や歩みは力強くなり、走り出す時が来たのです。)

III. 競走を走るー神の軍隊の兵士のようにそれに従う

(私個人の思想ー今や歩みは競走となり、競走は戦いとなる。救いの望みは兵士の頭にかぶる兜であり、光の武具は目前の日のための彼の装いである。兵士は戦い、明け渡し、神が救いを成し遂げてくださる。)

A. ローマ人への手紙 13:11 なお、あなたがたは時を知っているのだから、特に、この事を励まねばならない。すなわち、あなたがたの眠りからさめるべき時が、すでにきている。なぜなら今は、わたしたちの救が、初め信じた時よりも、もっと近づいているからである。(12) 夜はふけ、日が近づいている。それだから、わたしたちは、やみのわざを捨てて、光の武具を着けようではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4991 soteria ・ ■ G3696 hoplon

今は眠りより覚むべき時なり + 今やわれらの救いは、信じ始めしときよりも近ければなり → 暗きわざを脱ぎ捨て + 光の武具を身に着けよ。

(私の個人的な思い——パウロは夜明け前の兵士のように走者を呼び覚まし、起き上がるべき理由を告げる。すなわち、私たちの救いは、信じた時よりも今の方が近づいているということである。この節において、救いは信者の背後にあるのではなく、前方にあり、一歩ごとに近づいて来る。競走の終わりが見えてくるとき、人はより力強く走るものである。)

B. テサロニケ人への第一の手紙 5:8 しかし、わたしたちは昼の者なのだから、信仰と愛との胸当てを身につけ、救の望みのかぶとをかぶって、慎んでいよう。(9) 神は、わたしたちを怒りにあわせるように定められたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによって救を得るように定められたのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4030 perikephalaia ・ ■ G4991 soteria

慎み深くあれ、信仰と愛の胸当てを身につけ、救いの望みを兜としてかぶれ → 神はわたしたちを怒りに定めたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによって救いを得るように定められたのである。

C. ペテロの第一の手紙 5:8 身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。(9) この悪魔にむかい、信仰にかたく立って、抵抗しなさい。あなたがたのよく知っているとおり、全世界にいるあなたがたの兄弟たちも、同じような苦しみの数々に会っているのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1127 gregoreo ・ ■ G436 anthistemi

汝ら慎みかつ醒めをれ、汝らの仇なる悪魔、吼ゆる獅子のごとく歩き回る → 之に信仰を堅くして敵せよ。

(私個人の思想——パウロは、慎み深くあれ、そして武具を身に着けよと言う。ペテロは、慎み深く、目を覚ましていよ、なぜなら敵が獲物を求めて歩き回っているからだと言う。獅子は眠っている者を狩る。だから目を覚まし、信仰にしっかりと立って抵抗する兵士は、容易な獲物ではない。)

D. テモテへの第二の手紙 1:8 だから、あなたは、わたしたちの主のあかしをすることや、わたしが主の囚人であることを、決して恥ずかしく思ってはならない。むしろ、神の力にささえられて、福音のために、わたしと苦しみを共にしてほしい。(9) 神はわたしたちを救い、聖なる招きをもって召して下さったのであるが、それは、わたしたちのわざによるのではなく、神ご自身の計画に基き、また、永遠の昔にキリスト・イエスにあってわたしたちに賜わっていた恵み、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4982 sozo ・ ■ G2821 klesis

汝、福音のための苦難にあずかれ → われらを救い、聖なる召しをもって召したまえる者 + おのが目的と恵みによるなり。

E. ローマ人への手紙 1:16 わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシヤ人にも、すべて信じる者に、救を得させる神の力である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1411 dunamis ・ ■ G4991 soteria

私はキリストの福音を恥としない → それは信じるすべての者に救いを得させる神の力である。

(私自身の思い——この軍における兵士の武器は鉄ではなく福音そのものであり、「救に至らしむる神の力」である。パウロは二度、自分は恥とせぬと言う、我らの主の証詞をも、キリストの福音をも。福音を公然と携え運べ、なぜなら福音こそ、道にいる次の人に救いが届く手段だからである。)

F. 出エジプト記 14:13 モーセは民に言った、「あなたがたは恐れてはならない。かたく立って、主がきょう、あなたがたのためになされる救を見なさい。きょう、あなたがたはエジプトびとを見るが、もはや永久に、二度と彼らを見ないであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3320 yatsab ・ ■ H3444 yeshuwah

恐れてはならない、立ちとどまって主の救いを見よ。

G. 歴代志下 20:17 この戦いには、あなたがたは戦うに及ばない。ユダおよびエルサレムよ、あなたがたは進み出て立ち、あなたがたと共におられる主の勝利を見なさい。恐れてはならない。おののいてはならない。あす、彼らの所に攻めて行きなさい。主はあなたがたと共におられるからである』。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3444 yeshuwah

この戦いにおいて、あなたがたは戦う必要はない + ただ立って、あなたがたと共にいます主の救いを見よ + 恐れてはならない。

(私の個人的な思い——海のほとりでモーセは「立ちて、主の救いを見よ」と言い、三つの軍勢を前にしてユダの王も同じ命令を聞く。どちらの場面でも、民はなお進み行かねばならなかったが、救いそのものは神ご自身の御業であって、剣の働きではなかった。それゆえこの言葉は「賃金」ではなく「救い」なのである。)

H. ヘブル人への手紙 10:38 わが義人は、信仰によって生きる。もし信仰を捨てるなら、わたしのたましいはこれを喜ばない。(39) しかしわたしたちは、信仰を捨てて滅びる者ではなく、信仰に立って、いのちを得る者である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5288 hupostello ・ ■ G4047 peripoiesis

義人は信仰によりて生くべし + もし退くことあらば、わが心これを喜ばじ → われらは退きて滅亡に至る者にあらず、信じて靈魂を救はるる者なり。

(私個人の思いです——兵士が向かう方向はただ一つ、前進のみです。ストロング辞典によれば、フポステロー(G5288、退く)は、縮こまる、引き下がるという意味です。ヘブル人への手紙は戦いの場に二つの陣営しか置いておらず、それゆえ毎朝、「魂の救い」に至るまで信じる者たちと共に自分の場所につきなさい、とあります。)

I. ルカによる福音書 9:23 それから、みんなの者に言われた、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4716 stauros

自分を捨て、日々自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

J. ルカによる福音書 14:28 あなたがたのうちで、だれかが邸宅を建てようと思うなら、それを仕上げるのに足りだけの金を持っているかどうかを見るため、まず、すわってその費用を計算しないだろうか。(29) そうしないと、土台をすえただけで完成することができず、見ているみんなの人が、(30) 『あの人は建てかけたが、仕上げができなかった』と言ってあざ笑うようになるう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5585 psephizo ・ ■ G1615 ekteleo

まず座って、これを仕上げるのに十分な費用があるかどうかを計算しないだろうか。——この人は建て始めたが、成し遂げることができなかった。

私自身の思い——主は日々、全生涯をささげることが求められ、建て始める前にその代価を計算せよと言われる。建てかけて途中で放置された塔は、避難所ではなく嘲りをもたらす。代価を計算し、日々十字架を負い、完成させる建築者となれ。

K. ヨハネの黙示録 12:11 兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもそのいのちを惜しまなかった。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3528 nikao

兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち + 死に至るまでもそのいのちを惜しまなかった。

L. ユダの手紙 1:20 しかし、愛する者たちよ。あなたがたは、最も神聖な信仰の上に自らを築き上げ、聖霊によって祈り、(21) 神の愛の中に自らを保ち、永遠のいのちを目あてとして、わたしたちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5083 tereo

至聖き信仰の上に己を建て上げ + 聖霊によりて祈り → 神の愛のうちに己をたもち、永遠の生命に至らんとて、我らの主イエス・キリストの憐愍を待ち望め。

(私の個人的な考え——兵士への命令をひとつにまとめる。慎み深くあれ、救いの望みを兜としてかぶれ、目を覚ましていよ、福音を恥じることなく携えよ、退いてはならない、日々十字架を負え。神の子羊と呼ばれるイエスの血によって打ち勝ち、いのちよりも彼を愛せよ。競走はゴールラインまで続き、そのラインは次に来る。)

IV. 最終ライン——永遠の救いと、命の冠

(私自身の思い——すべての競走には終わりがあり、この終わりは壁ではなく、冠であり、御座であり、大いなる群衆である。救いは戸口から始まり、それから日々歩み、それから兵士のように戦った。今、それは成し遂げられ、その成し遂げには聖書における名がある。「汝らの信仰の極、すなわち靈魂の救」。)

A. マタイによる福音書 24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno ・ ■ G5056 telos

最後まで耐え忍ぶ者は救われるべし。

(私個人の思想——これは基礎から持ち越された三つ目の節であり、三つの中で最も小さいものである。ストロング辞典によれば、テロス(G5056、終わり)とは狙われる点、すなわち目標を意味する。ペテロは二節下で同じ言葉を用い、その終わりが何であるかを私たちに告げている。)

B. ヘブル人への手紙 9:27 そして、一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることが、人間に定まっているように、(28)キリストもまた、多くの人の罪を負うために、一度だけご自身をささげられた後、彼を待ち望んでいる人々に、罪を負うためではなしに二度目に現れて、救を与えられるのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4991 soteria

キリストは一度、多くの人の罪を負うために捧げられた → 彼を待ち望む者たちには、罪を負うことなく、救いのために再び現れられる。

(私の個人的な考え——キリストが最初に来られたとき、罪を負われた。二度目に来られるとき、「彼を待ち望む者たち」のもとに救いをもたらされる。この競走の終わりとは、ある人格が現れることであるから、その順序は、見張り、待ち望み、そして耐え忍ぶことである。)

C. ペテロの第一の手紙 1:8 あなたがたは、イエス・キリストを見たことはないが、彼を愛している。現在、見てはいないけれども、信じて、言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれている。(9)それは、信仰の結果なるたましいの救を得ているからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5056 telos ・ ■ G4991 soteria

あなたがたは彼を見たことがないのに愛し + 今見ていないのに信じて、言い表せない喜びに満ちて喜んでいる → あなたがたの信仰の結果、すなわち魂の救いを受けている。

(私の個人的な考え——タグ、G5056を見よ。マタイ24章13節において人が耐え忍ぶ「終わり」と、この節において人が受け取る「終わり」は、同じギリシャ語の一語である。終わりまで耐え忍べ。そうすれば、あなたの手に置かれる終わりとは、あなたの魂の救いである。)

D. ヤコブの手紙 1:12 試練を耐え忍ぶ人は、さいわいである。それを忍びとおしたなら、神を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno ・ ■ G4735 stephanos

試練に耐える人は幸いである → 主を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからである。

E. 使徒行伝 20:24 しかし、わたしは自分の行程を走り終え、主イエスから賜わった、神のめぐみの福音をあかしする任務を果し得さえしたら、このいのちは自分にとって、少しも惜しいとは思わない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5048 teleioo ・ ■ G1408 dromos

これらの事は少しも我を動かさず、またわが命をも少しも顧みず → 喜びをもってわが走るべき道程を終え + 神の恵みの福音を証せんためなり。

(私の個人的な考え——完走者がどのように語るかに注目せよ。パウロは、ただそれを生き延びるためだけでなく、喜びをもって自分の走るべき道程を終えることを願っている。道の最後の部分もなお、神の恵みの福音を最後まで証しする、宣教の道である。)

F. 使徒行伝 20:32 今わたしは、主とその恵みの言とに、あなたがたをゆだねる。御言には、あなたがたの徳をたて、聖別されたすべての人々と共に、御国をつがせる力がある。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2026 epoikodomeo ・ ■ G2817 kleronomia

わたしはあなたがたを神と、その恵みの言葉とにゆだねる → あなたがたを建て上げ、聖別されたすべての者と共に受ける嗣業を与えることができる。

G. ヘブル人への手紙 5:8 彼は御子であられたにもかかわらず、さまざまの苦しみによって従順を学び、(9)そして、全き者とされたので、彼に従順であるすべての人に対して、永遠の救の源となり、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G159 aitos ・ ■ G4991 soteria ・ ■ G5219 hupakouo

彼は御子であられたにもかかわらず → 彼に従順であるすべての人に対して、永遠の救の源となり、

(私の個人的な思い——あなたが歩んでいる歩みは、すでに歩まれた歩みです。イエスは苦しみによって従順を学び、その道を全うすることによって、永遠の救いの著者となりました。この節は、その救いを受ける者が誰であるかを、「すべて彼に従う者」と名指ししています。)

H. イザヤ書 45:17 しかし、イスラエルは主に救われて、とこしえの救を得る。あなたがたは世々かぎりなく、恥を負わず、はずかしめを受けない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3467 yasha ・ ■ H8668 teshuwah

しかし、イスラエルは主に救われて、とこしえの救を得る → あなたがたは世々かぎりなく、恥を負わず、はずかしめを受けない。

I. イザヤ書 51:6 目をあげて天を見、また下なる地を見よ。天は煙のように消え、地は衣のようにふるび、その中に住む者は、ぶよのように死ぬ。しかし、わが救はとこしえにながらえ、わが義はくじけることがない。

原語キー / STRONG' S: ■ H3444 yeshuwah

もろもろの天は煙のごとく消えうせ + 地は衣のごとく古びん → されどわが救いはとこしえに至り + わが義は廃せられじ。

私自身の思い — 見上げよ、と預言者は言う、そして天そのものが煙のように消え去るのを見よ。しかし消え去らないものを聞け、わが救いはとこしえに至らん、と。戸口で与えられたものは、あなたの頭上の空よりも長く残る。

J. ヨハネの黙示録 7:9 その後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手にとって、御座と小羊との前に立ち、(10) 大声で叫んで言った、「救は、御座にいますわれらの神と小羊からきたる」。

原語キー / STRONG' S: ■ G4991 soteria

誰も数えきれないほどの、あらゆる国民から出た大いなる群衆 + 御座と小羊との前に立ち → 大声で叫んで言った、救いはわれらの神にあり。

K. ヨハネの黙示録 7:13 長老たちのひとりが、わたしにむかって言った、「この白い衣を身にまとっている人々は、だれか。また、どこからきたのか」。(14) わたしは彼に答えた、「わたしの主よ、それはあなたがご存じです」。すると、彼はわたしに言った、「彼らは大きな患難をとおってきた人たちであって、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたのである。

原語キー / STRONG' S: ■ G4150 pluno

これらは大なる患難より出できたる者にして → 羔羊の血にてその衣を洗い、これを白くしたるなり。

L. ヨハネの黙示録 7:17 御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いて下さるであろう。また神は、彼らの目から涙をことごとくぬぐいにとって下さるであろう。

御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって → 彼らの目から涙をことごとくぬぐいにとって下さるであろう」。

(私の個人的な思い — この歩みの最後の場面は、あらゆる国民から集められた数え尽くせぬほど大いなる家族が、御座の前に立つ姿である。この大群衆がひとつになって叫ぶただ一つの言葉は「救い」である。彼らは、神の小羊と呼ばれるイエスの血で自らの衣を洗って白くした。そして神ご自身の御手が彼らの涙をぬぐい去られる。)

二人の口

ペテロの第一の手紙 1:5 あなたがたは、終りの時に啓示さるべき救にあずかるために、信仰により神の御力に守られているのである。

原語キー / STRONG' S: ■ G4991 soteria

あなたがたは、終りの時に啓示さるべき救にあずかるために → 信仰により神の御力に守られているのである。

テモテへの第二の手紙 1:12 そのためにまた、わたしはこのような苦しみを受けているが、それを恥としない。なぜなら、わたしは自分の信じてきたかたを知っており、またそのかたは、わたしにゆだねられているものを、かの日に至るまで守って下さることができると、確信しているからである。

原語キー / STRONG' S: ■ G5442 phulasso

私は自分が信じた者を知っている → 彼はその日のために私が委ねたものを守ることができる。

ユダの手紙 1:24 あなたがたを守ってつまずかない者とし、また、その栄光のまえに傷なき者として、喜びのうちに立たせて下さるかた、

原語キー / STRONG' S: ■ G679 aptaistos

あなたがたを転ぶことなく守り、その栄光の御前に喜びにあふれて傷なき者として立たせることができる。

コリント人への第二の手紙 13:1 わたしは今、三度目にあなたがたの所に行こうとしている。すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。

原語キー / STRONG' S: ■ G3144 martus

すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。

(私の個人的な考え — この道に沿って三人の証人が立ち、それぞれが同じ言葉を語る。「守られる」。ペテロは神の力によって守られると言い、パウロはその日のために守られると言い、ユダは倒れないように守られると言う。二人または三人の証人の口によって事は確立される。あなたに耐え忍ぶよう命じる神は、あなたが耐え忍ぶ間もあなたを守ってください。)

影と実現

(私自身の考え — 地面に映る影には確かな形があるが、その形だけでは、光がその実体を示すまで、何が影を落としているのかを教えてはくれない。旧約聖書に描かれる数々の型は、実在するからだによって落とされた真の影であり、そのからだとはキ

リストのことである。とはいえ、影はそのものの本当の姿ではない(コロサイ人への手紙2章17節、ヘブル人への手紙10章1節)。それゆえ、私たちは決して影だけに教えを築いてはならず、新約聖書の光がその影を落としたからだを示してくれたときにのみ、それを影と呼ぶべきである。)

Shadow 出エジプト記 14:30 このように、主はこの日イスラエルをエジプトびとの手から救われた。イスラエルはエジプトびとが海べに死んでいるのを見た。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3467 yasha

このように、主はこの日イスラエルをエジプトびとの手から救われた。

Shadow 出エジプト記 15:2 主はわたしの力また歌、わたしの救となられた、彼こそわたしの神、わたしは彼をたたえる、彼はわたしの父の神、わたしは彼をあがめる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3444 yeshuwah

主はわたしの力また歌+わたしの救となられた。

Fulfillment コリント人への第一の手紙 10:1 兄弟たちよ。このことを知らずにいてもらいたくない。わたしたちの先祖はみな雲の下におり、みな海を通り、(2)みな雲の中、海の中で、モーセにつくバプテスマを受けた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G907 baptizo

われらの先祖はみな雲の下にあり、みな海を通り抜けた → みな雲の中と海の中とでモーセにつくバプテスマを受けた。

Fulfillment コリント人への第一の手紙 10:11 これらの事が彼らに起ったのは、他に対する警告としてであって、それが書かれたのは、世の終りに臨んでいるわたしたちに対する訓戒のためである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3559 nouthesia

これらのすべての事は彼らに臨んだが、それは例となるためであった → われらの訓戒のために書き記された。

(私自身の思い——イスラエルは過越の子羊の血のもとにエジプトを出て、海の水を通り抜け、そして「彼は私の救いとなられた」と歌い、それから毎日のための天からのパンを携えて約束の地へと歩んで行った。その道のりは、この学びにおける戸口、歩み、競走、そして終着点と同じ形を持っており、パウロはこれらのことが私たちを戒めるために書かれたと言っている(コリント人への第一の手紙10:11)。光がそのからだを照らしたのである。)

閉会

テトスへの手紙 2:11 すべての人を救う神の恵みが現れた。(12)そして、わたしたちを導き、不信心とこの世の情欲とを捨てて、慎み深く、正しく、信心深くこの世で生活し、(13)祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神、わたしたちの救主キリスト・イエスの栄光の出現を待ち望むようにと、教えている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5485 charis ・ ■ G4992 soterios

すべての人を救う神の恵みが現れた。そして、わたしたちを導き → 大いなる神、わたしたちの救主キリスト・イエスの栄光の出現を待ち望むようにと、教えている。

テモテへの第二の手紙 4:18 主はわたしを、すべての悪のわざから助け出し、天にある御国に救い入れて下さるであろう。栄光が永遠から永遠にわたって主にあるように、アメン。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4982 sozo

主は私をすべての悪しき業から救い出し、そのみ国に至らせて下さるであろう。

(私自身の思い——歩みは「アバ、父よ」という新生児の叫びから始まり、日々の歩みを経て、兵士の競走を経て、ゴールでのいのちの冠へと至る。このタグ、G4982を見てほしい。なぜなら、この最後の約束における「守る」という言葉はソゾであり、まさに「救う」という言葉そのものだからである(テモテへの第二の手紙4:18)。戸口であなを救われた主は、天の御国に至るまであなたを最後まで救ってくださる。だから歩み続け、走り終えよ。)

練習クイズ

1. ペテロの手紙第一 2章2節 — 新たに生まれし嬰兒のごとく、混じり気なき霊の乳を慕い求めよ、それは汝が:

- a) 恵みにおいて成長する
- b) それによって成長する
- c) 光の中を歩む

2. マタイ24:13 — しかし、終わりまで耐え忍ぶ者は、

- a) 神の力によって守られる
- b) 救われた
- c) 救われる

3. ピリピ人への手紙2:12 — 自分の救いを、～をもって全うせよ:

- a) 言い難き喜び
- b) 恐れとおののき
- c) 信仰と愛

しかし、昼に属するわれらは、慎み、信仰と愛の胸当てを着け、そして兜として、

- a) 救いの望み
- b) 現わされるように備えられている救い
- c) 光の武具

しかし、私たちは滅びに至る退く者ではなく、信じて

- a) あなたがたの魂の救い
- b) あなたがたの信仰の結果
- c) 魂の救い

6. イザヤ書51:6 — 天は煙のように消え去り、地は衣のように古びる。そしてそこに住む者たちも同じように死ぬであろう。しかし、わが救いは、

- a) 世々限りなく
- b) 世々限りなく
- c) 永遠に

7. ペテロの第一の手紙1:9 — あなたがたの信仰の結末、すなわち～を受けて:

- 命の冠
- b) あなたがたの魂の救い
- c) 魂の救い

解答: 1-b ・ 2-c ・ 3-b ・ 4-a ・ 5-c ・ 6-c ・ 7-b

このスタディの分岐

→ 影がどのように光をもたらすか:イスラエルは血によって、また海を通して出て来ました。パウロは、先祖たちが「みな雲の中、海の中でモーセにつくバプテスマを受けた」(コリント人への第一の手紙10:1-2)と言っています。束縛から出る道は、救いの道の影であり、それ自体の学びに備えられています。

→ 新しい契約がそれをどう説き明かすか:海辺では「立ち止まって、主の救いを見よ」(出エジプト記14:13)と命じられました。福音においては、同じ救いが今や全世界に及びます。「それはすべて信じる者に救いを得させる神の力だからである」(ローマ人への手紙1:16)。

→ 言葉の重要性:マタイ24:13の「終わり」と第一ペテロ1:9の「終わり」は同じギリシャ語(G5056 TELOS)である。人が耐え忍んで到達する終わりとは、信仰の終わり、すなわち魂の救いのことである。

→ それが永遠にまで及ぶ様——天は煙のように消え去るが、「わが救いはとこしえに至らん」(イザヤ書51章6節)、そしてイスラエルは「とこしえの救い」をもって救われる(イザヤ書45章17節)。

→ 協道の考察:白い衣を着た大群衆(ヨハネの黙示録7:9)は、小羊の婚宴へと続いていく。そこでは、細布は「聖徒たちの義」である(ヨハネの黙示録19:8)。

→ 考えられる啓示:海の歌は「彼はわが救いとなられた」と言い、そこでの「救い」はYESHUWAH(H3444)である(出エジプト記15:2)。イエスの名は、ヘブライ名ヨシュア(H3091)、すなわち「主は救いなり」に由来する。そして御使いは言った、「なんぢ其の名をイエスと名づくべし、彼はおのれの民をその罪より救ひ給ふ者なればなり」(マタイ1:21)。救い主の名は、救われた者たちの歌である。

ギリシャ語キーワード

“救われた” — G4982 sozo — 救うこと;救出すること;守ること;癒すこと

「最後まで耐え忍ぶ者は救われる」

“救い” — **G4991 soteria** — 救助;安全;救出
信仰の実として、魂の救を得ている

“救い主” — **G4990 soter** — 救助者、救い主
わたしたちの主また救主イエス・キリスト

“新しく生まれる” — **G313 anagennao** — 再び生む;再び生まれる
朽ちる種によらず、朽ちない種による新生

“成長する” — **G837 auxano** — 成長する、増す
「純粋な、御言葉の乳を慕い求めなさい。それによって育つためである」

“ひたすら続ける” — **G4342 proskartereo** — 継続すること;待ち望むこと;絶えず自らをささげ続けること
初代教会が日々続けた四つのこと

“成し遂げる” — **G2716 katergazomai** — 十分に働くこと;成し遂げること;行うこと
恐れおののきつつ自ら救いを全うせよ

“油断のない” — **G1127 gregoreo** — 目を覚ましている、見張る
慎み深くあれ、目を覚ましていよ、あなたの敵が歩き回っているからである

“退く” — **G5288 hupostello** — 縮む、退く
「われらは、しりぞいて滅びに至る者ではない」

“救う” — **G4047 peripoiesis** — 保つこと;獲得すること;買い取られた所有物
「信じて魂の救いに至る者である」

“耐える” — **G5278 hupomeno** — 耐える;支える;忍ぶ
「試みを耐え忍ぶ人は幸いである」

“終わり” — **G5056 telos** — 終わり;目指す点;目標
「終わりまで耐え忍ぶ」こと、そしてあなたの信仰の結末を受けること

“冠” — **G4735 stephanos** — 冠;勝利者の冠
彼はいのちの冠を受けるであろう

“完成する” — **G5048 teleioo** — 完成すること;終えること;全うすること
わが道程を喜びをもって終えんために

“コース” — **G1408 dromos** — 競走;走路
パウロが喜びをもって走り終えた道程

“著者” — **G159 aitios** — 原因;創始者
「彼に従順であるすべての人に対して、永遠の救の源となった」

“保つ” — **G5432 phroureo** — 守ること、見張ること、駐屯軍のように保つこと
「信仰によって、神の力をもって救いに至るまで守られている」

“打ち勝った” — **G3528 nikao** — 征服すること;打ち勝つこと;勝利を得ること
彼らは小羊の血によって彼に勝った

私自身の思い — この言葉がどのように組み立てられているかに注目せよ。ストロング辞典によれば、ソテリア(G4991、救い)はソテル(G4990、救い主)から来ており、ソテルはソゾー(G4982、救う)から来ている。救いは救い主にかかっており、この言葉全体は働きたもう一人の人格である。

ヘブライ語キーワード

“救い” — **H3444 yeshuwah** — 救われたもの;救出;救い
主はわが救いとなられた

“救われた” — **H3467 yasha** — 救う;救い出す;安全である
このように、主はその日イスラエルを救われた

“救い” — **H8668 teshuwah** — 救出;救助;救い

「主によって永遠の救いをもって救われる」

“立ち止まる” — **H3320 yatsab** — 自らを据えること;立ちどまること;自らを差し出すこと
「立ちどまって、主の救いを見よ」

“思いめぐらす” — **H1897 hagah** — つぶやく;低く語る;思い巡らす
昼も夜もそのおきてを思う

“運んだ” — **H5375 nasa** — 上げること;負うこと;運ぶこと
胎を出た時からになわれ、年老いるまでも

“救い出す” — **H4422 malat** — 逃れること;救い出すこと;救うこと
このように、わたしはあなたがたを背負い、また救い出す

“ヨシュア” — **H3091 Yehowshuwa** — 主は救いなり;エホバは救いたもう
イエスの名の由来となったヘブライ名

(私の個人的な考え—イエシュア(H3444、救い)は、イスラエルが海のほとりで歌った言葉である。イエスという名は、ヘブライ語の名ヨシュア(H3091)に由来し、「主は救いなり」を意味する。御使いはその名と意味をひとつの文に結び合わせ、「汝その名をイエスと名づくべし、彼はおのが民をその罪より救ひ給はん者なればなり」(マタイ1:21)と告げた。)

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0);

Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).